

2011年7月19日(火曜日)

ふくい の 活力と希望を 明日につなぐ

3期目がスタートした西川県政。マニフェスト「福井新々元気宣言」に掲げたビジョンの実現を目指す平成23年度6月補正予算が、先の6月定例県議会で可決、成立。

この結果、

- 一般会計の6月補正予算の規模は345億円
- 当初予算と合わせた一般会計の予算総額は 5,013億円
(対前年度比0.3%増)

となりました。

今回の補正予算は、福井新々元気宣言の実現に重点を置くとともに、経済・雇用対策の充実など政策的な事業を中心に編成し、平成16年度以来7年ぶりに5,000億円を上回りました。

「6月補正予算」って？



養女(高校1年生)

「6月補正予算」ってあんまり聞かないけど、どんな予算なの？



お父さん

県の仕事は、毎年、予算という形で経費を見込んで進めているんだよ。
予算は年度の始まる4月までにあらかじめ決めることになっていてね。年度初めまでに定める予算だから、これを「当初予算」というんだ。
23年度の当初予算は、知事選挙などがあったので、主に継続的な事業を中心とした必要最小規模の予算となっていたんだ。これに福井県独自の政策的な事業を中心に予算化したのが「6月補正予算」だよ。



養女(高校1年生)

そうなのね。
ところで、6月補正予算の事業の内容について、もっと知りたいわ。



お父さん

じゃあ、新しくなったこの『県政だより』で主な事業を見てみよう！
「ふくいの活力と希望を明日につなぐ」事業ばかりだよ。



養女(高校1年生)

うん、楽しみね。
裏面もあるなんて、内容が盛りだくさんね。

「福井新々元気宣言」 の実現に向けて

元気な 県土

舞鶴若狭自動車道の全線開通と北陸新幹線の金沢開業の機をとらえ、新しい高速交通ネットワークの活用プランを作成し、これから先の50年を見据えたまちづくりを進めていきます。

新高速交通ネットワーク 活用プロジェクト

平成26年度に予定される舞鶴若狭自動車道と北陸自動車道の直結や北陸新幹線の金沢開業を、本県の経済、観光、まちづくり面での最大の効果につなげるため、「舞鶴若狭自動車道活用推進プラン」と「北陸新幹線活用検討プラン」を作成するプロジェクトを立ち上げます。

舞鶴若狭自動車道
小浜西IC～小浜IC間の輸送を
配慮したハイウェイオーフ
の様子だね。
北陸自動車道と直結すると
便利になるね。



県都デザイン戦略

これから次の50年を見据え、次世代に受け継ぐにふさわしい県都のデザイン戦略を、皆さんと一緒に考えていく場を設けます。

50年後の福井って
どんな感じに
なるのかな。



元気な 産業

県内中小企業のアジア展開や新分野進出のほか、新しい方向性を開く農林水産業、観光とブランドの国内外への発信など、産業に新たな活力を生み出す施策に重点を置きました。

ふるさと企業育成ファンドの創設

県内金融機関と協力して、全国的にも先進的な、100億円の「ふるさと企業育成ファンド」を創設。この運用益を活用して、小規模な企業が経営の多角化や事業転換など、新たな分野に踏み出す際の支援を行うほか、県内企業の将来を担う理工系大学院生に対して奨学金を貸与し、ふるさと産業を育成します。

水田農業の活性化

集落営農を行う経営体の機械導入等の支援を行い、農地の集積率を今後4年間で7割に拡大するほか、こうした集落営農組織や認定農業者が、生産、加工、販売を一体的に行う、いわゆる「6次産業化」を推進し、農業所得の向上を目指します。



こうやって
おいしい福井米が
作られていくのね。



若者のチャレンジと女性の活躍を応援

若者のチャレンジ活動を応援するため、仲間に出会う機会や新たな交流の場を提供するほか、若者が福井を元気にするプランの実現を応援します。

また、女性の活躍を応援するため、これまで進めてきたキャリアアップの施策や相談体制の充実に加え、女性リーダーの出やすい社会環境を目指す「未来きらりプログラム」を作成し、女性のいきいきとしたライフスタイルを支援します。さらに、企業などで管理職を目指す女性の指導者を養成し、社会のリーダーとなる女性を増やします。

女性が輝いている
社会っていいよね。



私もボランティアに
参加しようかな。



「福井型18年教育」の推進

「学力・体力日本一」の福井の教育を、次のステージに進めるため、幼児教育から高校教育まで一貫した「福井型18年教育」を実践します。

人間形成の基礎を養う上で大切な幼児教育を総合的に支援する「幼児教育センター」の設置に向け、教育プログラムの策定や保育士などの指導力、親子・地域の子育て力の向上につながる研修などを実施します。

また、小・中学校、高校を通じて、教員の指導力を高めるため、ICT(情報通信技術)を利用して個々の教員が持つ優れた教材や指導案のデータを共有し、授業で活用しながら、相互に改善を加えていくシステムを導入します。加えて、教科等の分野ごとに教員が集まり、専門性を高め、より良い授業に反映していきます。

さらに、「福井型英語コミュニケーション能力向上プロジェクト」として、日常的にリスニングの機会を充実させる「イングリッシュシャワー」のほか、海外語学研修などの実践的な英語教育プログラムにより、会話能力を伸ばし、国際的に活躍する人材を育成します。

福井の
「学力・体力日本一」
がさらに伸びると
いいね。



日本一の安全・安心

『安全・安心ふくい』実現プランや「みんなが参加の見守り活動」などの展開により、福井の安全・安心は大きく向上しています。

今年度はさらに、「つながりの力」を活かし、地域の企業などと連携した「地区別防犯活動連絡会」の設置や、若い世代も参加する「子ども見守りデー」を設け、地域の防犯力をより一層強化します。

アクティブシニア
による見守り活動などが、
日本一の安全・安心に
つながっているんだよ。



医療提供体制の強化と小児療育体制の充実

産婦人科や小児科の医師が不足していることから、県立病院内に「地域医療研修センター」を整備し、産婦人科医・小児科医を養成するための後期研修を充実するほか、新生児医療に携わる医師、看護職員などが高度医療を修得するための研修機会を充実していきます。

また、嶺南では、小児療育の拠点となる病院や児童デイサービス事業所の訓練室等の整備を支援するほか、言語聴覚士や臨床心理士などの専門人材を若狭健康福祉センターに配置し、高度な小児療育体制を整えます。

低炭素の街づくり

嶺南西部地域で、道の駅などへの太陽光発電設備の導入や電気自動車用急速充電器の設置のほか、公園、遊歩道などの街灯のLED化などを進め、将来のモデルとなる低炭素の街づくりを推進します。



これからは電気自動車用の充電器も増えていくだろうね。



元気な 県政

国体開催に向けた準備や選手の育成・強化のほか、ふるさと文学を推進していきます。

生活のなかに楽しむ県民文化

子どもたちが本物の芸術・文化に触れる機会を増やすとともに、美術や音楽活動の質を向上し、将来の福井文化の担い手を育成します。

また、県立図書館にある「ふるさと文学コーナー」を改修して、県民の文学活動の拠点となる「福井ふるさと文学館」の整備を進めます。



子どものころに本物の芸術や文化に触れるのって、すごく大切なんですよ。



国体めざす県民スポーツ

平成30年の国体開催に向け、県民一人ひとりが生涯を通じてスポーツに親しむ環境づくりを行うほか、県立ホッケー場やクレー射撃場の整備、審判員の養成など、開催準備を着実に進めています。

また、将来の主力を担う中高生の有望選手に対する強化練習など、競技力の向上を目指した活動も推進します。

「希望ふくい」のふるさとづくり

「自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク」の交流・連携を深め、地方発の新たな政策を提案・実行します。

また、福井の企業の魅力をアピールするため、都市圏での合同面接会などを集中的に開催し、ふるさとへのUターン就職を促進します。

経済・雇用対策

回復の兆しはあるものの、震災などの影響もあり、依然として厳しい状況にある県内中小企業などへの「経済・雇用対策」を充実します。

「クールライフプロジェクト」 連携消費拡大キャンペーン

「クールライフプロジェクト」の実施にあわせ、各家庭が節電対策で節約したお金を消費につなげるため、商工会議所などと連携し、消費拡大キャンペーンを展開します。

新たな雇用の創出

全国トップクラスの有効求人倍率を誇るものの、雇用情勢は依然として厳しい状況にあり、震災の影響も懸念されることから、引き続き

震災対策

防災対策を強化し、災害に強い街づくりを進めます。

東日本大震災における地震・津波災害や東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、住民の避難体制や医療体制を再度検討し、災害・危機への最初動対策を充実するため、県地域防災計画の見直しを行います。

また、災害派遣医療チーム(DMAT)の医療機材の整備や県営住宅の耐震化のほか、地域防災の拠点である小・中学校の耐震化がさらに進むよう、市町を支援します。

加えて、引き続きボランティアや職員などを被災地に派遣し、各種応援活動を行うほか、被災された方々を本県に受け入れ、仕事を必要とする方への就農支援や、子どもたちへの就学支援、心のケアを実施するなど、被災した自治体や住民の皆さんを応援してい

介護や農林水産分野などを中心に、年間3,500人の雇用を新たに創出します。



多くの雇用が
創出されるような
対策が期待
されるね。



ます。

災害ボランティア
「チームふくい」の皆さんが、
被災地で積極的
に支援活動を行っ
ているんだよ。



詳しい内容は、県のホームページに掲載されていますのでご覧ください。



福井県 平成23年度6月補正予算

Google 検索

この記事に関するお問い合わせは 県財務企画課 0776(20)0234 までどうぞ

 **BACK**